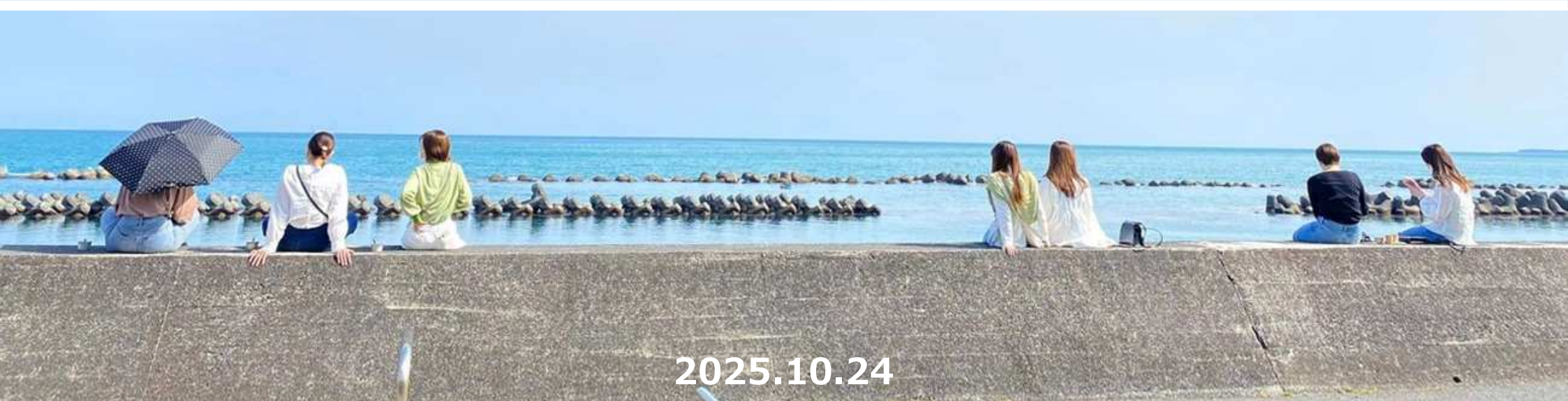


用宗緑地再整備・管理運営事業

説明会資料



2025.10.24

用宗のまちと用宗緑地

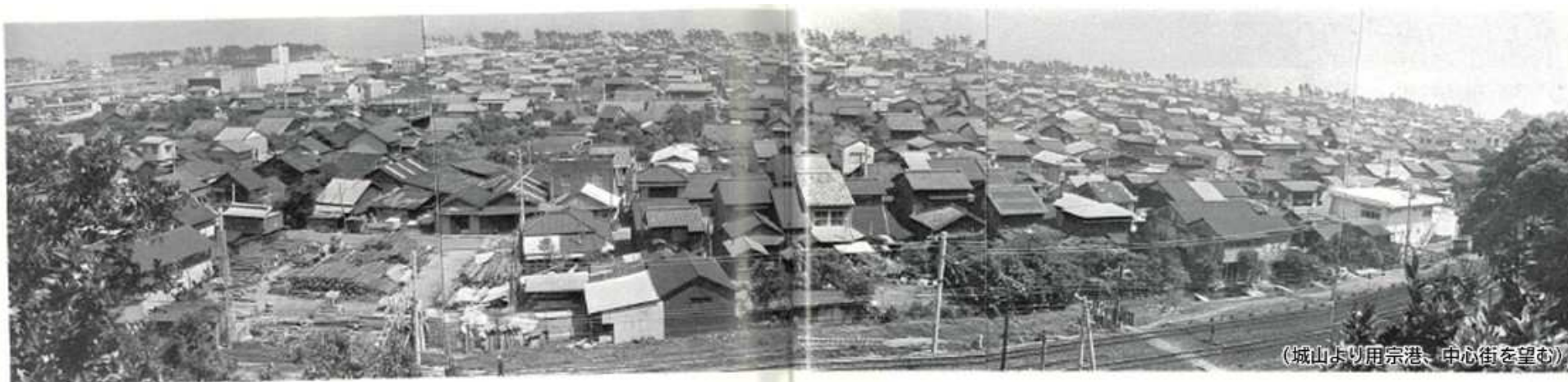
用宗のまちの成り立ち

用宗は農業と漁業を中心にまちが形成され、用宗駅や大規模事業所の開設により更なる発展をしてきた歴史がある。ＪＲ静岡駅から２駅という立地もあり、昭和中期から静岡のベッドタウン化が進むなど、まちが変化してきた。

また、最近では社会課題となっている人口減少や高齢化が用宗でも進み、それらの原因から空き家が増加傾向にある。その空き家を活用した宿泊施設の整備を皮切りに商業店舗、温浴施設等がオープンしたことで来訪者が増加している。

【用宗の年表】

- 明治/大正 : 半農半漁（農業：綿・サトウキビ・お茶など、漁業：カツオ、イワシ、シラスなど）
- 明治29年 : 町村制施行により近隣の村と合併し用宗村から安倍郡長田村へ
 - : 輸入関税撤廃により綿の栽培が衰退し、茶、桃、梨、柑橘の生産に変容
- 明治42年 : 用宗駅開設
- 昭和初期～ : 世界恐慌後のタイミングで上京者が戻り住宅が増加
- 昭和8年 : 巴川製紙用宗工場の設置（会社員の増加）
- 昭和9年 : 長田村が静岡市に合併
- 昭和40年代 : 遠洋漁業の衰退（遠洋漁業：マグロやカツオが減少しシラス漁が中心に）
- 平成前期 : 静岡市全域と同様に人口減少・少子高齢化が進展とそれに伴う空き家の増加
- 平成後期～ : 民間事業者によるエリア開発（空き家の利活用促進、来訪者の増加）



年表及び写真の参照：用宗町誌（昭和46年発行）

用宗エリアの特徴について

用宗エリアは閑静な住宅地が広がるとともに、特産品のしらす、景観が魅力的な用宗海岸やその海岸を活用した海水浴やSUPなどのマリナクティビティ、地元有志による地域おこしの取組や民間事業者によるまちづくりが進められている。



持舟城跡からのまちなみ



用宗海岸とまち



用宗漁港



複合商業施設



J R用宗駅



特産のしらす



用宗老人福祉センター



海水浴場



地域活動団体

出典：用宗を楽しむ会HP

用宗エリアの施設立地の分布について

【用宗エリアの施設立地】

- ・ 150号線から少し入ったエリアは戸建てが並ぶ住宅地になっている。
 - ・ 国道150号線や用宗漁港周辺、民間事業者の開発が進む、海岸沿いのエリアに店舗等が立地している。
 - ・ 150号線の北側は多くの事業所が立地している。
- ➡住宅のエリアと観光・散策のエリアが近接している

	内 容
人 口	3,933人(令和6年3月末)
周辺施設	公共施設：老人福祉センター、こども園、漁港 商業施設：HUT PARK、みなと横丁 観光宿泊：柳屋旅館、日本色、RVパーク
イベント	漁港祭り、ぎおん祭り、海水浴場、水軍まつり



 用宗：用宗1～5丁目、用宗巴町、用宗城山町及び用宗小石町

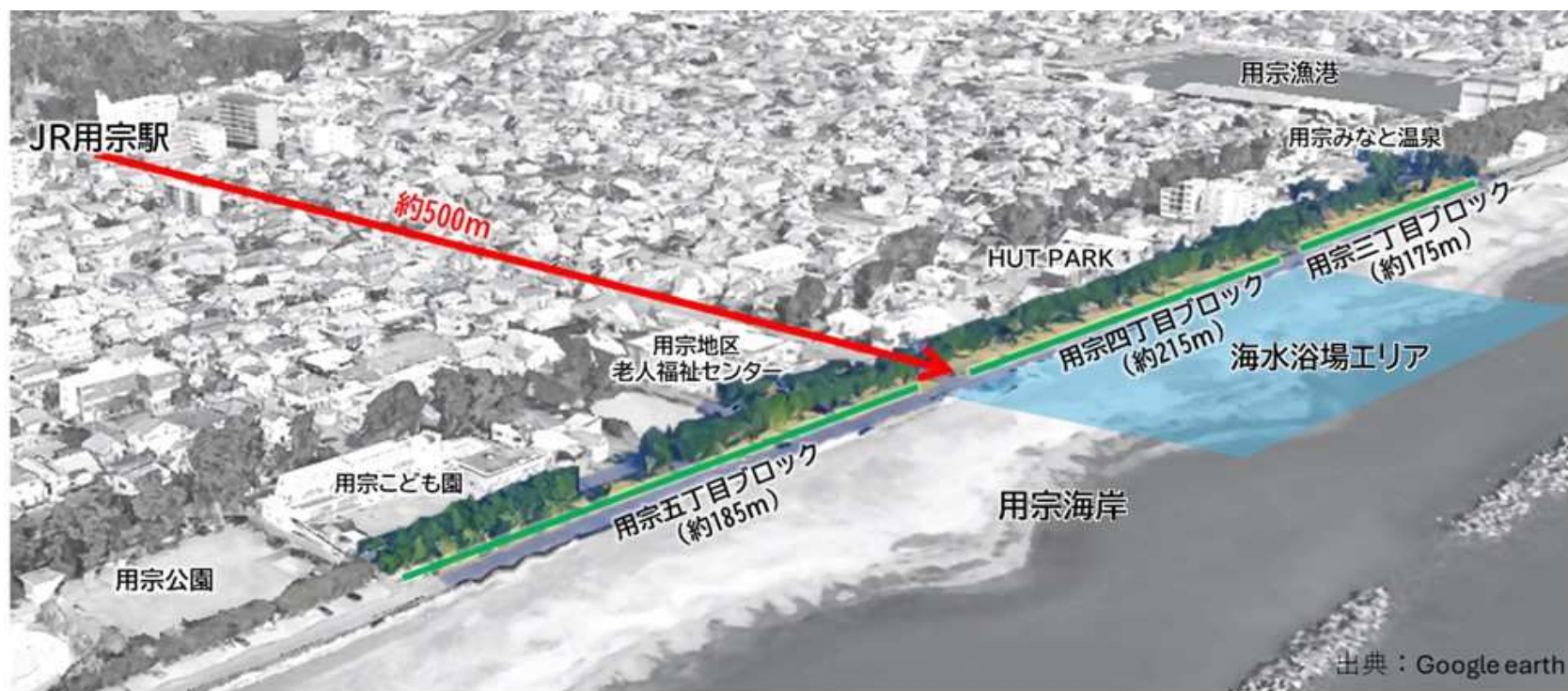
用宗緑地の再整備に向けて

用宗緑地は、用宗海岸の保全整備工事の進展に伴い、浜遊び等の市民の憩いの場として親しまれるようになってきたことから、修景施設、休養施設を主体に昭和60年に整備されました。

用宗海岸沿いに東西に600m、4ブロックで構成され「樹林地等の保全を目的とする緑地」としての機能を有しており、マツやカナリーヤシ（フェニックス）が植栽されているため、海岸沿いの雰囲気醸成されています。

地域のみなさんをはじめ、海水浴や観光等で用宗を訪れる方など、多くの人々にご利用いただいておりますが、当初整備から40年が経過したことで、園路やベンチといった公園施設の老朽化が進んでいます。そして、近年では用宗エリアで地域の活性化を目的とした団体の活動や民間事業者が主体となったまちづくりの取組が行われています。

このことから、用宗緑地を再整備することで、より多くの方に用宗の海を眺めながら、ゆっくりと過ごしていただける空間を目指すこととしました。



用宗緑地の利用状況について

【用宗緑地の利用状況】

太平洋を望む良好な景観と帯状に芝生が続く形状から地域住民の方々には散歩などで利用されている。（芝生が続いているため夏季もペットの散歩に利用されている。）

そして、夏季は海水浴場が開設されることから、緑地内に管理棟やシャワーなどが暫定設置されるほか、マリナクティビティとしてSUPやシーカヤック、マリンジェット等の愛好家により利用されている。

また、用宗エリアは民間事業者による周辺開発により飲食・物販店舗の増加や、宿泊施設などが整備されたことで、近年は市内外からの来訪者が増加傾向にある。



通
年

近隣にお住まいの方

1位：散歩・ジョギング

2位：犬の散歩

3位：休 憩

来訪された方

1位：観光・デート

2位：休 憩

3位：散歩・ジョギング



夏
季

用宗海岸での海水浴場・マリナクティビティ等の
休憩場所

用宗緑地利用者アンケート結果

	近隣にお住まいの方		来訪された方	
主な利用目的	①散歩やジョギング	46.7%	①観光	27.5%
	②犬の散歩	22.7%	②休憩	18.1%
	③休憩・語らい	10.7%	③デート、散歩・ジョギング(同率)	15.5%
気に入っているポイント	①海を望む景観	39.4%	①海を望む景観	48.5%
	②散歩ができる場	31.7%	②休憩・語らい	32.6%
	③休憩・語らい	16.3%	③散歩ができる場所	9.2%
直してほしい施設	①休憩場(日陰たな、ベンチ)	23.5%	①休憩場(日陰たな、ベンチ)	31.3%
	②トイレ	19.9%	②トイレ	30.3%
	③樹木(植栽)	13.2%	③芝生	12.3%
追加してほしい施設	①屋根付きの休憩所	26.1%	①屋根付きの休憩所	23.1%
	②夜間でも安心して散策できる照明	16.2%	②飲食できるデッキ	18.7%
	③飲食できるデッキ	13.5%	③夜間でも安心して散策できる照明	12.2%

近隣にお住まいの方には散歩やジョギング、犬の散歩等で利用されています。来訪された方には、用宗エリア観光の際の休憩場所として利用されている。近隣にお住まいの方と来訪された方の利用目的は異なるものの、気に入っているポイントや直してほしい施設や追加してほしい施設は概ね一致している。

➡海を望む景観が魅力であるものの、日影が少なくゆっくりすることが出来ないことが課題

用宗の課題と 用宗緑地の再整備について

社会課題と用宗の地域課題について

社会全体の課題と用宗エリアの課題について下記のとおり整理した。用宗のまちは急激な人口減少や少子高齢化、それに伴う空き家の増加などが発生しており、さらに人口減少が進むことで小売りや飲食などの生活関連サービス水準の低下、公共交通の縮小、空き家・耕作放棄地の増加、地域コミュニティの機能低下等の悪影響が懸念される。

【用宗エリアの地域課題】

<現在の地域課題>

- ・ 急激な人口減少
- ・ // 高齢化（子育て世帯の減少）
- ・ 人口減少による空き家の増加
- ・ 地域コミュニティの高齢化（持続性、継続性）

<将来想定される用宗の地域課題>

- ・ 生活サービスの維持（店舗や子育て福祉、教育施設など）
- ・ 交通インフラの維持（鉄道、バス）

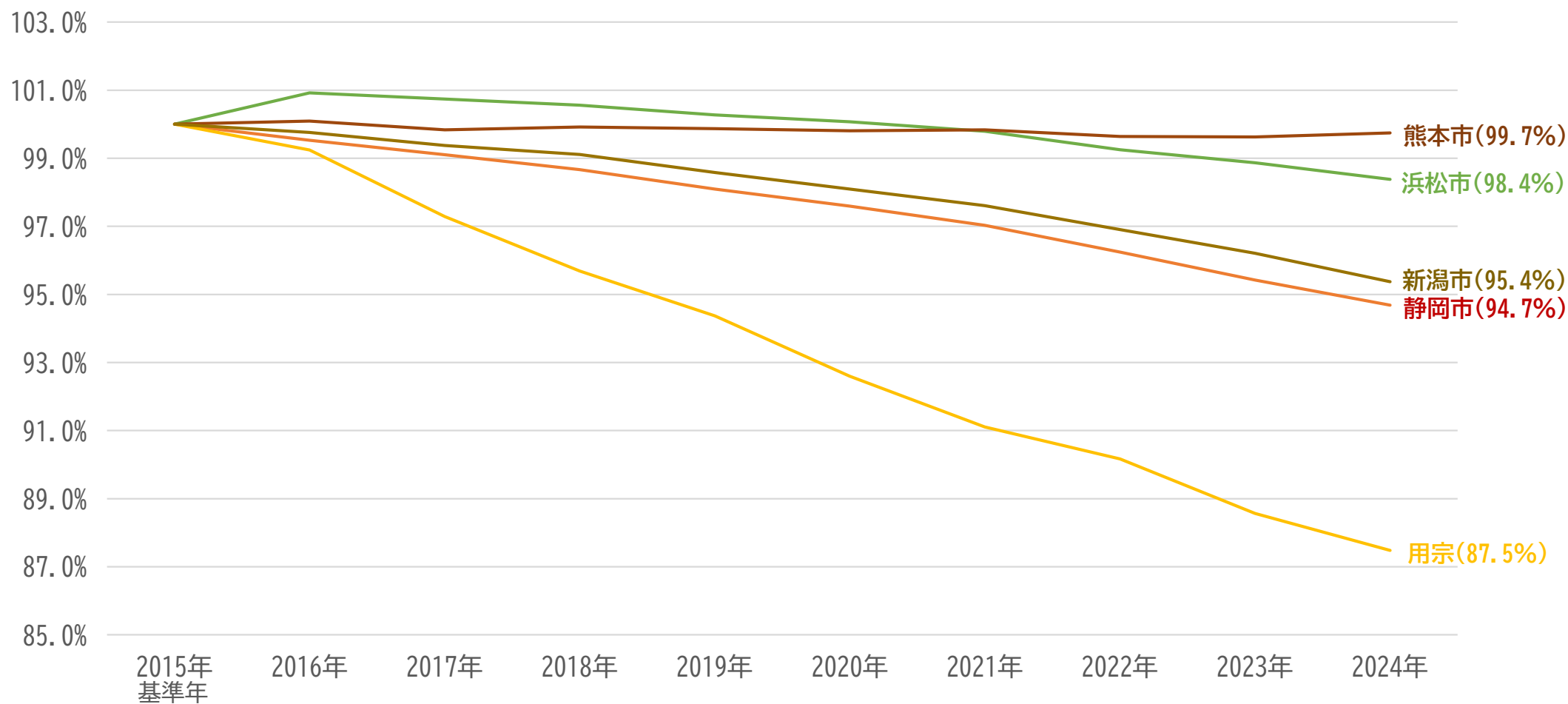
→ 用宗のまちを維持できなくなってしまう

用宗エリア人口減少・少子高齢化について

○人口減少・少子高齢化の現状

静岡市の人口は平成2年の約74万人をピークに減少している。静岡市全体の人口減少よりも用宗地区は人口減少のペースが早く、この10年間で約12.5%の人口減少が進んでいる。また、特に小学生の年代と子育て世代の減少が著しい。

【人口の増減率】

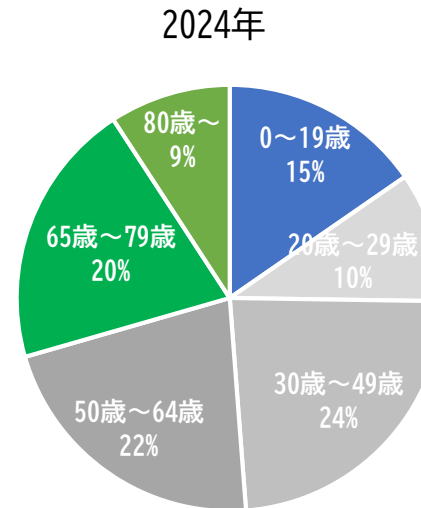
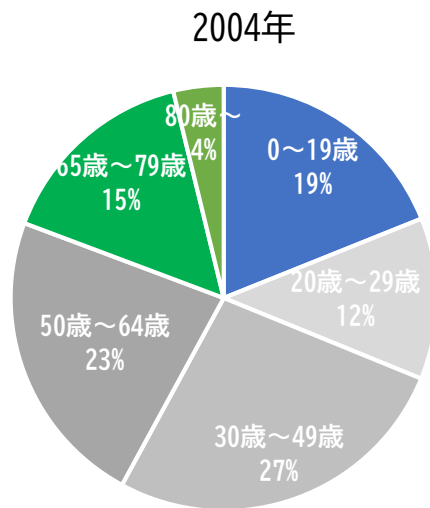


※用宗：用宗1～5丁目、用宗巴町、用宗城山町及び用宗小石町

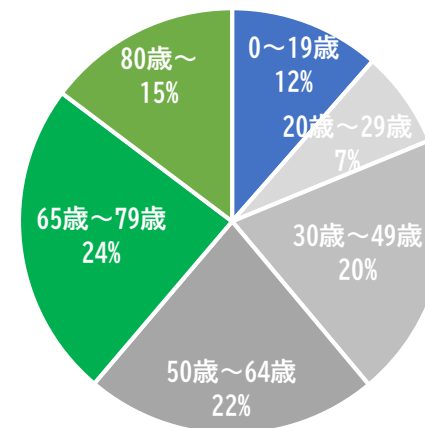
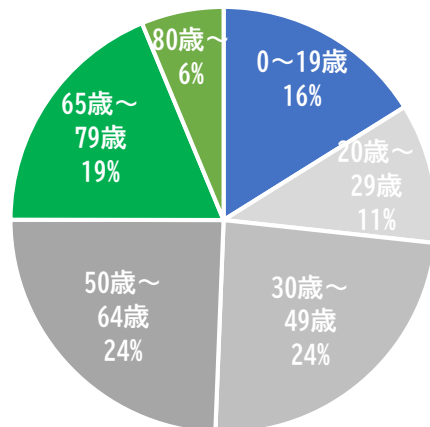
用宗エリア人口減少・少子高齢化について

静岡市では十代以下の割合が19%から15%となり、65～79歳、80歳～が5%ずつ増加している。
用宗では十代以下の割合が16%から12%となり、65～79歳が5%、80歳～が9%増加している。

【静岡市】



【用宗】



用宗エリアの課題整理

【用宗エリアの現状とポテンシャル】

近年では急激な人口減少や少子高齢化が進み、空き家の増加などの課題が表面化している。用宗エリアはＪＲ静岡駅から２駅というアクセス性ととも、景観に優れた用宗海岸、漁港等の海を感じる空間、しらすやミカン、桃といった農水産物、静かな居住環境などの特徴や魅力があることから、それらのポテンシャルを活かしていくことが、まちの維持・発展に重要である。

【地域や民間事業者が進めるまちづくりの取組】

【地域団体による用宗エリアの活性化】

用宗海岸の清掃や城山の整備などに取り組む用宗町内会の「用宗汐風クラブ」や、用宗エリアを市内外の方が交流する場とすることで活性化することを目指す地域の若手有志で組織する「用宗を楽しむ会」等による地域による活性化の取組が行われている。



出典：用宗を楽しむ会HP

【民間事業者によるエリア開発】

用宗エリアの空き家をリノベーションした宿泊施設のオープンをきっかけに複合商業施設や漁港施設をリノベーションした温泉施設、ブリーチリーホテルなどが整備されたことで、市内のみならず、市外、県外からの来訪者が訪れる環境となっている。



【新たに生じた課題】

しかしながら、来訪者が増えたことによる課題も生じている。

- ・ 従来からの問題の悪化（花火の騒音、ＢＢＱの臭い、ゴミの放置）
- ・ 歩行者が増加することによる自動車との交通事故が懸念されるなどの課題も生じている。

地域住民や地域団体の意見交換

地域との対話の状況

	団体名	参加者	内容
令和5年5月	用宗を楽しくする会	地域の若手の集まり	・日陰で休憩できる休憩場が欲しい ・石部まで夜間照明が連続してほしい ・スポーツアクティビティを誘致してほしい ・夜間利用の促進したい
令和5年6月	長田地区自治会	長田地区連合町内会長 用宗、石部、広野町内会長	・樹木を適正管理してほしい ・ペットの糞やごみの放置対策 ・トイレを適正管理してほしい ・BBQのマナー向上を徹底してほしい
令和5年7月	用宗自治会	用宗自治会	都市局職員と用宗自治会が連携して、繁茂した樹木の伐根・伐採作業の実施
令和6年1月	長田地区自治会	長田地区連合町内会長 用宗、石部、広野町内会長	・事業実施に伴いごみが増えないか ・ニーズの変化に伴い、公園施設も更新するべき ・丁寧な合意形成をしてほしい ・説明会の開催要望
令和6年夏頃	用宗緑地利用者アンケート		—
令和6年11月	長田地区自治会	長田地区連合町内会長 用宗、石部、広野町内会長	・維持管理や整備手法に関する意見 ・地元住民向けの説明会開催に関する要望
	用宗漁協	用宗漁協	・イベントが開催された時の駐車場は心配。整備内容には意見はない
令和6年12月	【第1回 説明会】 近隣住民・公園利用者	近隣住民など26名	・民間事業者による開発によって観光地化したことで発生している騒音や臭い、ゴミの放置などの悪化、事故発生を懸念する意見 ・観光地化が進む用宗エリアのまちづくりに関する意見 ・来訪者の増加と居住環境のバランスが重要であるという意見 ・周辺店舗との競合や、民間事業者が収益化できなかった場合の対応を心配する意見 ・用宗緑地や松林の維持管理に関する意見
令和7年3月	【第2回 説明会】 近隣住民・公園利用者	近隣住民など11名	・再整備によって来訪者が増えた場合の駐車場が不足するのではないかという意見 ・海が見える景観が用宗の魅力なので、緑地や後背地からの景観に配慮してほしい ・周辺の既存店舗との競合について配慮してほしい。 ・周辺店舗と競合するという考え方もあるが、多様な店舗が集まることで相乗効果が生まれることもある。 ・用宗緑地で事業が成立するのかを心配する意見 ・利用者のマナー啓発も取り組んで欲しい。

用宗緑地再整備の考え方

用宗緑地再整備の考え方

本事業の実施にあたっては、次に示す点に留意して整備及び管理運営を行うものとします。

用宗エリアの地域課題や用宗緑地の利用状況、利用者アンケート、地元住民等の意見や周辺で行われる民間主導のまちづくりなどの状況、静岡市立地適正化計画(利便性の高い市街地ゾーン)、静岡市観光基本計画(重点地区)の位置付けを踏まえ、事業方針を、用宗緑地をリニューアルすることで『用宗のポテンシャルを活かした持続可能な発展に貢献する』ことと決めました。

用宗緑地を再整備することで、用宗緑地の滞在性や快適性、回遊性、安全性の向上を図るとともに、用宗エリアの魅力を向上させることを目標とします。また、地域と連携した用宗緑地や海岸の利活用や保全を進めることで、来園者のピークを迎える夏以外の時期にも、みなさんに愛され利用される緑地となり、用宗のまちの持続可能な発展につながることを期待しています。

【用宗緑地を再整備することで期待する効果】

直接的な効果：用宗緑地（用宗エリア）の滞在性・快適性・回遊性・安全性の向上

○滞在性・快適性・回遊性の向上

- ・海を見ながら日陰で休憩できる休憩施設の整備（必須）
- ・夜間景観が向上し安心して散策できる照明設備の整備（必須）
- ・利用者のみなさんが散歩、散策しやすい園路への改修（必須）
- ・周辺施設とともに滞在の楽しさを増やす施設(飲食店や売店)の設置（必須）
- ・事業者の協力による用宗緑地の維持管理の質の向上（必須）

○安全性の向上

- ・交通事故のリスク低減につながる緑地への出入口の新設（必須）

市が求める施設整備と維持管理・保全活用

(※写真やイラストはイメージ)

滞在性・快適性・回遊性の向上

必須：日陰で休憩できる休憩施設



必須：照明設備

必須：園路改修（3～4丁目）



必須：便益施設（飲食店等）



必須：日々の管理点検（日常点検、園内の見回り、簡易清掃）

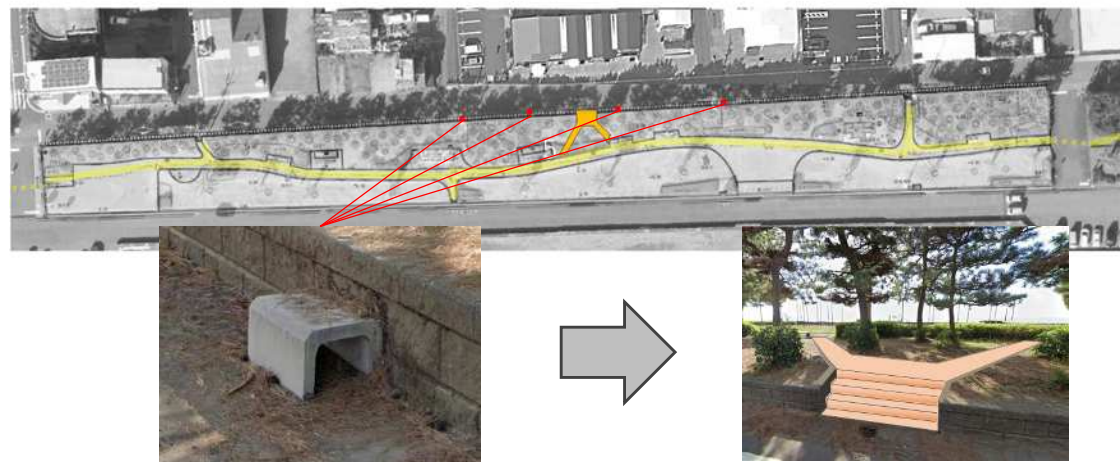
必須：事業者が整備した公園施設（日陰で休憩できる休憩施設、便益施設）の維持管理



安全性の向上

必須：交通事故のリスク低減につながる緑地への出入口の新設

- ➡ 交通事故の発生を防止するために出入口の新設と4丁目ブロックの道路側のU字溝の撤去



用宗緑地再整備の考え方

間接的な効果：用宗緑地周辺の活性化、環境の保全

○地域経済の振興（任意）

- ・ しらすやみかん等の地域産品の消費促進

○用宗緑地や用宗海岸の活用（任意）

- ・ 緑地や海岸での地域振興イベント
- ・ 用宗海岸や海を利用したマリンアクティビティや社会貢献活動

○用宗海岸の環境保全（任意）

- ・ マナー啓発や地域と連携した海岸保全活動

【再整備を進める上でのポイント】

○景観の向上と周辺との調和

- ・ 用宗緑地の最大の魅力である海を望む景観の魅力向上や周辺との調和

○居住環境への配慮

- ・ 騒音や臭いなど近隣の生活環境への配慮

○周辺で進むまちづくりとの調和

- ・ 用宗エリアで進む開発やまちづくりの方向性などとの調和

○周辺の商業状況を踏まえた公募対象公園施設でのサービス提供

- ・ 用宗緑地周辺に立地している商業店舗や事業者等の状況を踏まえ、用宗エリア全体の魅力が向上する相乗効果を生む事業の実施

事業者の選定結果について

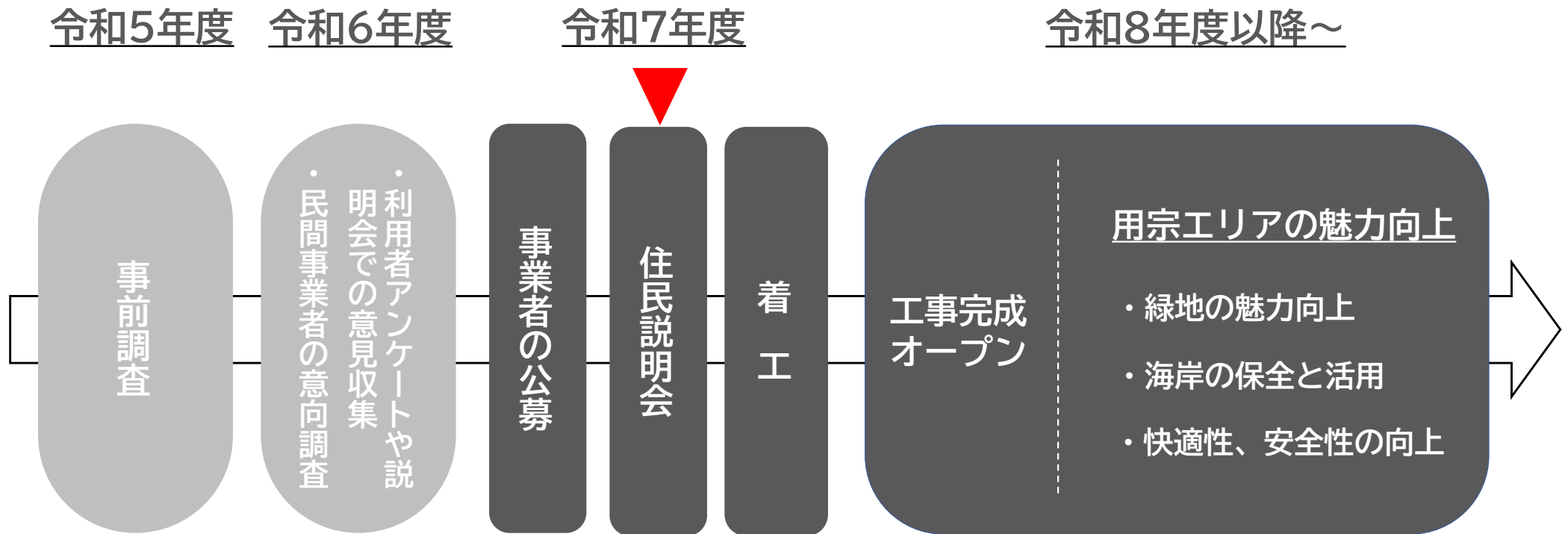
1. 委員会開催概要 日 時：令和7年9月17日（水）午後3時から午後5時まで
場 所：静岡市役所9階 特別会議室
2. 評価方法 1人当たり240点満
各委員（6人）の評価点の総合計1,440点で最も評価点が高い候補者に選定

3. 評価委員

分 野	所 属・氏 名
公園、造園に関し優れた識見を有する者	岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共
エリア・地域づくりに関し優れた見識を有する者	LIFULL HOME 'S総研 所長 島原 万丈
ランドスケープデザインに関し優れた識見を有する者	株式会社水辺総研 代表取締役 岩本 唯史
官民連携に関し、双方に対する優れた識見を有する者	ONE Word 一言 太郎
企業経営に関し優れた識見を有する者	中小企業診断士 青山 由美子
用宗緑地周辺地域に関し優れた識見を有する者	用宗町内会 会長 海野 光弘

4. 審査結果 選 定（評価点891点）
5. 設置等予定者 『Pine Cone』（パイン コーン）
代表法人 株式会社C S A travel
構成法人 株式会社C S A不動産
構成法人 市川土木株式会社

用宗緑地再整備事業のスケジュール



- 工事日程など、詳細な日程が決まりましたら、事前に地域住民の皆様、公園利用者の皆様へ周知を図ります。
- 工事にあたり、周辺住民の皆様の御迷惑にならないように適切に配慮します。